

事業報告

元気なまちづくり市民会議

10月20日、若槻コミュニティセンターでコミわか主催の「元気なまちづくり市民会議」が開催され、約150名の参加がありました。若槻地区の身近な課題を市側とざっくばらんに話し合うのが狙い。「コミわか提案議題」と参加者も対象とした「自由討議」に分けて行いました。鷺澤市長は会議の締めくりに市民会館建設予定地などの諸問題について所信を述べました。（当日の会議資料を希望する方は、コミわか事務局へ）



小林三津男自然環境部長の熱意ある訴え

1. コミわか提案議題

①中山間地域の指定について

当地区北部地域の上野・田中・田子・吉区（通称：坂上地区）では、他の中山間地域と同様に高齢化が進み、耕作放棄地の拡大、鳥獣被害、不法投棄などの課題を抱えている。

このため、坂上地区でも中山間地域の指定を受け、「地域活性化推進員」の配置や「やまざと支援交付金」などの支援をお願いしたい。

（回答）

市では国の法律や県の基準により定めている地域により選定しているため、若槻地区は指定外になっていることをご理解いただきたい。

しかし、耕作放棄地については、優良農地を復元する場合に、国の「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」が活用でき、また、鳥獣被害対策については、「野生鳥獣被害防除対策事業」で対応可能である。

市では中山間地域の指定地区については、「地域活性化推進員」の配置や「やまざと支援交付金」の制度を設けて中山間地域特有の課題解決を目的に推進している。

若槻地区を今指定することは困難だが、中山間地域における総合的・計画的な施策の展開として「やまざと振興計画」の策定に着手し、弾力的に運用できることを検討している。

②コミわか事務局自立への支援について

コミわか本格稼働し半年経過した。コミわか行政との関わりの中でスムーズに運営できることは支所職員の多大な支援があることだと思う。コミわか充実するために、行政についての知識や手続き手順等の処理能力が必要であり、市職員OBなど経験豊かな専任職員の配置を要望する。また、事務局職員の人件費は、現在100万円の交付を受けているが、この人件費では常勤体制ができないため財政的な支援もお願いしたい。

（回答）

コミわかなど住民自治協議会の事務局職員には、会計に関する事務を主に担ってるが、地区によって雇用体制、勤務時間に差異がある。ご提案の行政職員OBの配置については、長年の経験の積み重ねた知識は有効な手段ではあるが、候補者の有無や人件費の確保が必要であり、このような職員の配置によって行政主導に陥ることも検討しなければならない。

財政的な支援については、他地区からも、会計事務のみではなく、会議の通知や会議の参加など一連の流れとして事務処理を担うことが求められており、フルタイム勤務が必要であることも分かっている。

いずれにしても、本格活動を始めたばかりのため、過度の負担にならないよう配慮しながら進めたい。

2. 自由討議

①徳間小学校区放課後子どもプランについて（市側・慎重に検討）

②若槻コミュニティセンターの建て替えについて（市側・まったく前進なし）

③生け垣による緑化推進と登録制度について（市側・前向きな回答）

④昭和の森公園内「自然生態観察ゾーン」における在来種の保護保全について（市側・前向きな回答）